

入園や進級で子どもの環境が変わる時期に親はどう接すればいいの。保育士経験40年以上という元公立保育所園長、現在は武庫川女子大附属保育園、西宮市鳴尾町4-1の園長、大槻伸子さん(63)に聞きました。

「1日中泣く子がいると思えば、保育士が『もうちょっと泣いてもいいのよ』と思うような子も、初めは泣かず、数日たつてから泣く子もいるし、発熱など体の不調が出る子もいる。保育士に抱っこされるのも触られるのも嫌で、部屋のドアにしがみついたり泣き、泣き疲れて寝た子もいた。個人差がある」

お話を聞いたのは  
武庫川女子大附属保育園園長 大槻伸子さん



おわじきのおと 西宮市出身。公立保育所3カ所で園長を務め、2013年度から武庫川女子大附属保育園長、園児94人。

### 頑張っている気持ち受け止めて

気持ちを受け止め、子どもがいっつもより甘えてきたり、機嫌が悪かったりしたら、しっかりと

切り泣く方が、慣れやすいといえる。親には「発達の過程で当然の姿。子どもが調子に育っているという点なので、安心してお仕事へ」と話している。子どもなりに『これは大丈夫。楽しいこと』『と分かれは落ち着いてくる』

「家庭では受け止めて。新しい環境で頑張っている抱っこしてあげてほしい。言葉で『コミュニケーションで遊ぶ年齢なら、園での出来事を聞き『楽しかったね』と声掛けを』

「『大きいクラスになったんだから、ちゃんとしない』などプレッシャーをかけるのではなく、『新しいおもちゃを使えるね』といったワクワクするまっな会話を。お母さんにも新しい生活を楽しみにしてくれていると思うと、子どもは気持ちよく楽しめる」

「赤ちゃん返りしたろうか、夜泣きなどの原因になることはあるかもしれないが、親が気にしすぎると、かえって悪影響。大人でも全く知らないことへ来たなら不安になるし、表情が硬くなる。初めての場所ならだから当たり前、とドンと構えた方がよい。そういえば泣いてたね、という日は必ず来る。親の不安は子どもにも伝わる。一人で子育てを頑張ろうと思わず、いろいろな人の力を借りて、気持ちに余裕を持つてほしい」

(聞き手・中島摩子)